

メディカルほっと通信

せせらぎ

2021
さくら号
Vol.33

四万十川のせせらぎのようにやさしく、そしておおらかに...
患者さんに寄り添い共に歩む、真心のこもった医療を目指します



もくじ Contents

- 新院長のあいさつ 2 P
- 院長の交代について 3 P
- お薬の管理について 4 P
- 当院のコロナ対策を紹介します 5 P
- 売店の閉店について 他 6 P
- せせらぎ掲示板 7 P
 花の苗を寄付していただきました 他
- 外来診察医師担当日表 8 P
 鍼灸院のGWの診療について



四万十市立市民病院広報誌

新院長のごあいさつ



令和3年4月1日より四万十市立市民病院の院長職を拝命致しました濱川公祐です。地域住民の皆様、医療関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

当院は長きにわたって幡多地域の急性期医療を担う病院の一つとして機能してきました。そのような病院の院長を長年勤められた樋口医師より引き継ぐことになりましたが、その責務の重さに身が引き締まる思いです。

当院の現状を申しますと、全国的な地域の自治体病院の共通の問題であります医師不足と経営難に直面しています。地域の人口は徐々に減少しておりますが、病院に求められる役割は必ずしも減少せず、高齢化率の上昇や新型コロナウイルス感染症の出現などで必要とされる仕事は増加しています。その中

で限られたスタッフでもお互い協力して特長を生かしつつ、医療の質を維持していくように努めて参ります。院内においてはすべての職員の和を大切に、それによって得られる力を患者様に優しい医療として提供していきたいと考えています。

医療を取り巻く状況は日々変化しており、病院の運営もその流れに合わせて変化していく必要があります。これからは病院同士もお互いに協力して地域を守っていく時代だと思えます。今まで以上に近隣の医療機関と協力しつつ、自治体や介護福祉関連施設などとも協力して地域包括医療・ケアを充実させていきます。

四万十市は「住みよさランキング」では全国でも上位に入るなど、自然の豊富さと整った町並みを兼ね備えた良いところです。その中で市民病院も住みやすい地域に医療の面から貢献できるように取り組んで参ります。私自身の出身は高知市ですが四万十市に住んで10年以上が過ぎ、地域との縁も感じつつ日々の診療や病院の運営に励みたいと考えています。

今後とも皆様方には四万十市立市民病院にご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

四万十市立市民病院
院長 濱川 公祐



院長の交代について

長年、院長をお勤めいただきました樋口先生が、この度院長職を交代することとなりました。樋口先生は、昭和55年から当院に勤務し、平成17年から院長として当院を支えていただきました。

樋口先生は今回で院長職を交代されますが、令和3年4月以降も当院で内科及び透析の医師として勤務しますので、新院長ともどもよろしくお願いいたします。



診察中の樋口先生(平成4年当時)



早いもので私が市民病院で医師として勤めてきて40年以上がたちます。この間、患者様や病院スタッフといったたくさんの方々に支えていただき、ここまで来ることができました。微力ではございますが、幡多地域の地域医療に貢献できたのではないかと考えております。

さて、この度は院長を交代することとなりましたが、今後も市民病院で医師として勤務しますので、今後ともよろしくお願いいたします。

樋口 佑次

医師の退職について

平成19年より当院の脳神経外科の医師として勤務されてきました伴昌幸先生が令和3年3月をもって退職することとなりました。また、平成22年から勤務されてきました同じく脳神経外科の川田祥子先生も3月をもって退職します。

なお、川田先生は、非常勤医師として4月以降も当院の脳神経外科で勤務していただきますので、よろしくお願いいたします。



● 脳神経外科の診察日について

伴先生と川田先生のご退職により脳神経外科の診察日が変更となります。患者様にはご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆ 脳神経外科の診察日(令和3年4月以降) ※診察日については8ページを参照。

		月	火	水	木	金
脳神経 外科	午前	川田祥子	川田祥子	休診	休診	休診
	午後					



お薬の管理について



薬剤師 林 泰江

1 お薬カレンダーの話

「今日の薬はのんだかな？」

「薬の袋が多くていつも取り出すのが大変」

このようなことを思ったことはないでしょうか。お薬カレンダーを使用することで、服薬の確認や、毎日の薬の準備が少し楽になるかもしれません。

(1) お薬カレンダーとは？

朝・昼・夕・ねる前のポケットがついており、1週間分の薬をセットすることができます(図1)。壁にかけて使用するので、家族の方も薬を飲めたか確認しやすくなります。また複数の病院から薬を処方されている方は、薬をセットしてしまえば、毎回たくさんの薬袋から薬を取り出す手間が減ります。

欠点としては持ち運びには不向きであること、分包されていない薬を1錠ずつセットすると取り出しにくかったり、薬のシートごと飲みこんでしまったりする危険性があることなどです。

(2) どこで手に入るの？

調剤薬局等で販売しています。まずはかかりつけの調剤薬局でご相談してみてください。



図1 お薬カレンダー

図1は、朝・昼・夕・ねる前の1日4回お薬がある場合です。この図では水曜日のお昼の薬まで飲めています。薬がたくさんある場合は、図2のように薬局で一包化してもらえると、セットや管理が楽になります。



図2 一包化した薬

2 余ったお薬の話

飲み忘れ等でお薬がたくさん余ってないでしょうか？お薬にも使用期限があります。症状に合わせて薬の内容も変わりますので、飲み間違いの原因にもなります。

新しい薬をもらうときに、余った薬を持参していただくと、それを使ってもらえる場合があります。お薬代の節約にもなりますので、お薬がたくさん余って困られている方がいれば、かかりつけの調剤薬局などに相談してください。





当院のコロナ対策を紹介します

当院では、患者様に安心してお越し頂けるように多くの新型コロナウイルス対策を実施しております。今回はその一部をご紹介します。

1 正面玄関の顔認証端末

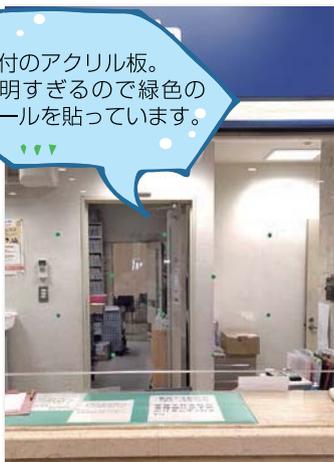
まず皆様が当院へお越しになった際に最初に通るのが正面玄関ですが、今年から「顔認証端末」を設置しております。この顔認証端末では、検温とマスクの着用の確認をさせていただきます。また、この顔認証端末は正面玄関の自動ドアと連携しており、検温とマスクの着用をクリアしていただかないと自動ドアが開かないようになっております。

お越し頂いた皆様にはご面倒をおかけしますが、検温とマスクの着用の確認にご協力をお願いします。



2 アクリル板の仕切り

受付のアクリル板。透明すぎるので緑色のシールを貼っています。



内科の受付にも設置。



当院では患者様と対面することのある受付等では、仕切りをしております。以前は半透明のビニールカーテンでしたが、今年に入ってから透明なアクリル板に交換しております。以前のビニールカーテンと比べてあまりに透明で、ぶつけてしまう患者様もいらっしゃいましたので、シールを貼ってわかるように工夫しております。アクリル板は受付以外に、内科や薬局にも設置しております。

また、職員同士の感染対策として、職員食堂にもアクリル板のパーテーションを設置しております。

ちなみにこのパーテーションと受付の仕切りは、職員の手作りとなっております。仕事の合間を縫って、ホームセンターなどから材料を調達し、制作・設置しています。自作することで対策に係る費用の削減に努めております。



食堂の3面の仕切り。



男性職員が仕事の合間を縫って自作。



お越し頂いた患者様に安心してご利用いただくために、他にもたくさんの対策を実施しております。

当院では口腔ケアを行っております！

口腔ケアの目的は口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔の機能維持、また誤嚥性肺炎など全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上にもつながります。

認知症や寝たきりの患者様は、口腔内を清潔に保つことが難しく、看護師がケアを実施するのですが、当院では幡多地域在宅歯科連携室と連携し専門職の指導を受けることで、より効果的な口腔ケアの実施に取り組んでいます。昨年からは口腔保湿ジェル「リフレケア」を導入し、1回の口腔ケアで口腔内がみるみるきれいになったり、患者さんの笑顔がみられたりと効果を実感しています。



4階病棟の休床について

令和3年4月より当院4階病棟を休床することになりました。これにより、これまでは3階55床、4階44床、合計99床あったのが、3階55床のみとなります。

市民の皆様ならびに関係各所の方にはご不便等をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

売店の閉店について

長らく当院の売店を運営されてきました宮田和美さんが、令和3年2月をもちまして売店を閉店されることとなりました。宮田さんは、院内では親しみを込めて「売店のおばちゃん」と呼ばれており、長い間、当院を支えてくださいました。大変残念ではありますが、スタッフ一同、宮田さんの今後のご健康とご多幸をお祈りしております。**おばちゃん、ありがとう！**

なお、売店の閉店により利用者の皆様にご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。



花の苗を寄付していただきました！

● サイバラ建設株式会社様より当院へパンジーや葉牡丹などの花の苗を寄付していただき、後川テニスクラブ有志の皆さまで病院正面玄関前の花壇に植えこみをしていただきました。来院される患者さまの目を楽しませてくれると思います。ありがとうございました。



マスクを寄付していただきました！

● 市民の方からマスクを寄付していただきました。なんと手作りです。しかもこんなにたくさん！いただいたマスクは大切に院内で有効活用させていただきます。ありがとうございました。



1枚ずつ丁寧に包装されています。



段ボールいっぱいいただきました。

火災訓練を実施しました！

● 令和3年1月20日に火災訓練を実施しました。当日は、1階整形外科付近で火災が発生したことを想定して行いました。写真は3階病棟から入院患者を搬送する訓練なのですが、通常入院患者を搬送するにはストレッチャーという器具を使用しますが、エレベーターが使用できないとストレッチャーは使用できません。火災時はエレベーターが使えないと想定されるため、今回はエアーストレッチャーという特殊な患者搬送用器具を用いて訓練を実施しました。重い男性患者(写真は職員)でも女性看護師2人がかりであれば、写真のように搬送することができます。当院では、患者様の安全のため定期的に訓練を実施しております。



70kgの男性職員(最近太った)も看護師2人なら余裕！



階段もおろせます。

外来診察医師担当日表

●受 付:午前8時~11時まで(☎34-2126)
(令和3年4月1日より)

		月		火		水		木		金	
内 科	午前	初診 予約外	要致嘉	初診 予約外	要致嘉	初診 予約外	要致嘉	初診 予約外	鈴木光哉	初診 予約外	西尾美紀
		予約	樋口佑次	予約	濱川公祐			予約	要致嘉	予約	※竹田修司 (注2)
		予約	鈴木光哉	予約	樋口佑次			予約	樋口佑次	予約	西尾美紀
	予約	※鷲山憲治	予約	※鷲山憲治	予約	濱川公祐	予約			濱川公祐(注2) ※竹田修司(注2)	
	午後	予約	鈴木光哉	予約	※鷲山憲治	予約	濱川公祐	予約	濱川公祐	予約	樋口佑次
		予約	※佐田憲映	予約	※国立高知 (注1)(第2週)			予約	鈴木光哉	予約	鈴木光哉
予約		濱川公祐	予約	濱川公祐	予約	鈴木光哉	予約	鈴木光哉	初診 予約	※八十島徳昭 (漢方外来) 第2・4週	

※印のある医師は非常勤医師です。(注1)国立高知病院医師が交替で診察します。(注2)竹田修司医師・濱川公祐医師(午後)の勤務は不定期となっております。

脳神経 外 科	午前 午後	※川田 祥子	※川田 祥子	休 診	休 診	休 診
外 科	午前	宇都宮俊介	(検査)	宇都宮俊介	(検査)	宇都宮俊介
整 形 外 科	午前	河内 通	坪屋 英志	河内 通	坪屋 英志	河内 通
泌 尿 器 科	午前 午後	休 診	休 診	休 診	休 診	※高知大学医師 (注3)

※印のある医師は非常勤医師です。(注3)高知大学医師の診察は午前10時~となります。

- 受付時間: ○ 初診・予約外の方:午前8時~11時まで ※受付時間を過ぎて受診される場合は、必ずお電話でのお問合せをお願いします。
○ 予 約 の 方:午前8時~ ※漢方外来は隔週金曜日の午後のみです。診察を希望される方は事前の電話予約が必要となります。
- 診療時間:午前8時30分~午後5時15分 (急患の場合はこの限りではありませんので、まずはお電話ください)
- 休 診 日:土曜日・日曜日・祝日及び年末年始

中医学研究所附属鍼灸院だより

診療日 ※水曜日・日曜日は休診日です。

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	—	○	○	○	—
午 後	○	○	—	○	○	○	—

TEL(34)4798 ※予約制



鍼灸院の「ゴールデンウィーク」中の診療について

中医学研究所附属鍼灸院のゴールデンウィーク中は通常通り診療します。日々溜まった疲れを癒しにぜひお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
4/25	26	27	28	29	30	5/1
休診	診療	診療	休診	診療	診療	診療
2	3	4	5	6	7	8
休診	診療	診療	休診	診療	診療	診療

四万十市立市民病院理念

【基本理念】

私たちは良質な医療を提供し、患者さんに信頼される病院を目指します。

【基本方針】

(患者の権利の尊重)

患者さんの人権と生命の尊厳を尊重した医療を行います。

(職員の自覚・自己啓発)

全ての職員は医療技術の研鑽に努め、親切で優しい対応を心がけます。

(地域連携)

地域の医療機関等との連携を推進し、開かれた病院づくりに努めます。

(経営健全化)

経営の健全化を図り、安定した病院運営に努めます。

ホームページもぜひご覧ください!
四万十市立市民病院 検索

発行元
四万十市立市民病院広報委員会
〒787-0023
四万十市中村東町1丁目1番27号
TEL(0880)34-2126・FAX(0880)34-1861